

学生版まちづくりチャレンジ協働事業報告書

事業対象団体名	恵庭尺八会		
学生版協働事業の名称	令和4年 冬季尺八練成会		
実施期間	2022年 1月23日	実施場所	恵庭市民活動センター えにあすホール
事業の目的	日本伝統の楽器である尺八の技法の伝承と発展を願い活動を行っている。練習成果発表の場を作り、次世代を担う青年たちも参加して恵庭市の文化向上を目指すとともに、市民にできるだけアピールする場を演奏会として開催した。		
事業の実施状況	えにあすホールで13時30分から開始。 六段の調 紅連華 岬の灯台 ソネット 遠砧 日本のわらべ唄 寒月 おもいのたけ 湖上の月 平和の山河 飛鳥の夢 春の海 の12曲を尺八の独奏や合奏はもとより、琴や三味線の村林グループ5名に合奏をお願いして日頃の練習成果を発揮した。老若男女の尺八17名のうち3名が家の事情・体調不調で欠席したものの緊張のなかにも達成感をもって16時過ぎに終了した。残念であったのは2名の男性学生のうち1名が体調不良のため参加できなかった。2名の学生同士の尺八合奏曲を予定したが学生1名とその師匠との演奏となった。		
事業による成果・効果	生活情報誌「ちゃんと」に1月21日(金)に掲載していただき一般の人たちの来場をお願いした結果、15名の一般の方々が来場していただいた。 一般の方々より来年もお願いしますとのご意見をいただきありがたく拝聴した。		
次年度以降の事業の見通しと課題	毎年 恵庭近郊で地区ごとで、持ち回りで半年に1回は開催しており、来年か再来年には恵庭でまた開催する予定である。もっと尺八の仲間を増やしていく予定で、教育・介護施設などでも活動を広げていくつもりである。		

様式第14号（第10条関係）

学生版まちづくりチャレンジ協働事業補助金収支決算書

事業の名称：令和4年冬季尺八錬成会 1/23開催

（恵庭尺八会）

1 収 入

（単位：円）

項 目	金 額		備 考
	予算	決算	
補助金	50000	50000	学生版まちづくり協働事業補助金
参加会費	46800	42000	@3000×14
団体会計より		330	
合 計	96800	92000	

92,330

2 支 出

（単位：円）

項 目	金 額		備 考
	予算	決算	
報償費	50000	50000	琴・三味線の村林グループへ
運搬代	15000	20000	琴運搬料
横断幕作成料	10000	2000	
会場使用料	8000	8000	1/23 本番えにあすホール
同上	11800	11800	12/18 1/16 合奏練習会場費 5900×2回
印刷費	2000	530	コピー用紙
合 計	96800	92330	

領収書

①
②
③
④
⑤
⑥

備考）領収書の写しを添付してください

令和4年 冬季

尺八錬成会

開催のお知らせ

恵庭・北広島・清田・尺八会合同演奏会

ところ：えにあすホール 恵庭市市民活動センター

恵庭市京町1番地

とき： 令和4年1月23日（日曜日）

開場： 13時00分 開演 13時30分

箏 演奏： 藤の会（村林 グループの皆さん）

演奏曲： 六段の調べ 宮田耕八朗編曲 ほか

注）会場内ではマスクの着用を

お願いします。

令和4年 1/23 冬季尺八錬成会 プログラム

開演 13:30 恵庭市民活動センター (えにあすホール)

(14:25 頃 10 分休憩)

1. 六段の調

宮田耕八朗編曲
参加者全員

7. 尺八本曲 平和の山河 流祖 中尾都山作曲
一部 門前深雪
二部 渋谷統桜

2. 飛鳥の夢

尺八 市場谷昂山 宮城道雄作曲
新田統翔 門前深雪
箏本手 村林満詠 小泉喜江
箏替手 折笠由美江 富岡悦子
十七弦 渡辺由美子

8. 遠 砦

尺八 岡田菱山 宮城道雄作曲
池田統心 堀 楼耕 小林統瑞
箏本手 小泉喜江 金田一大和
箏替手 渡辺由美子
十七弦 富岡悦子
三 絃 村林満詠 折笠由美江

3. アニメ鬼滅の刃より 紅蓮華 (ぐれんげ) 草野華余子作曲

尺八 堀 楼耕

4. 岬の灯台

尺八 安藤綉山 野村正峰作曲
箏 折笠由美江 小山統岳 武野統龍
富岡悦子

9. 日本のわらべ唄 野村正峰編曲
尺八 中田昂恭 林 統芽 渋谷統桜
箏本手 折笠由美江 小泉喜江 富岡悦子
箏替手 村林満詠 渡辺由美子

5. 都山流本曲 湖上の月 流祖 中尾都山作曲

一部 金田一大和
二部 林 統芽

10. 都山流本曲 寒 月 流祖 中尾都山作曲
独奏 岡田菱山

6. 尺八三重奏 ソネット

三木 稔作曲
一部 安藤綉山 (一尺六寸管)
二部 宮越継山 (一尺八寸管)
三部 米田統山 (二尺三寸管)

11. おもいのたけ

尺八 米田統山 香登みのる作曲
箏 村林満詠
十七絃 渡辺由美子

終演 15:45 頃

演奏曲 曲解説

2. 飛鳥の夢 宮城道雄 作曲

聖徳太子の生誕1330年の祝賀曲とし高松宮殿下が歌を選んで作曲された作品です。昭和26年大阪で1週間にわたって演奏されました。雅楽のような荘厳で、しかしふつと華やかな歌を伴う曲です。昨年1400年かな？

3. 紅漣華 草野華余子 作曲

この曲は漫画「鬼滅の刃」の主題曲です。紅漣華とは水面に咲く赤い蓮の華のことをいい、寒さでめくれた皮膚に咲く紅漣地獄を指します。歌詞には大切な守るべきもののために立ち向かう、主人公への想いが込められています。2019年4月に配信されています。

4. 岬の灯台 野村正峰 作曲

人里離れた岬の突端に佇立する燈台の姿を擬人化すると何とも寂しく厳しい姿でしょう「岬の燈台さびしかないか」と呼びかけるようなメロディーで綴つたきよくです。実はそのころ結婚した愛弟子のために自分の心境を述べて贈った曲です。

5. 湖上の月 中尾都山 作曲

都山流本曲1992年晩秋に初代中尾都山が作曲されたとされています。晩秋の琵琶湖上に映える月光と漣をそよぐ湖面の金波、銀波を2管の尺八で奏でいる。2段は8分の3拍子、本曲で3拍子が使われるの、最初の作品です。

6. ソネット 三木稔 作曲

尺八の三重奏で1部6寸管 2部8寸管 3部2尺3寸管での演奏でハーモニーがとてもきれいな曲です。音域も個性も異なる3本の尺八がゆったりと素朴なメロディーを奏で一編の詩のような作品です。

7. 平和の山河 中尾都山 作曲

都山流本曲 1951年に初代中尾都山作曲した最後の本曲 終戦後の荒涼とした広島を訪れ心底の平和を願う気持ちから生まれた曲です。

8. 遠 砧 宮城道雄 作曲

宮城道雄が朝鮮在住中に作曲したのが「唐砧」で東京に住んでいるときにつくられたのが「遠砧」です。砧とは洗濯後の仕上げでアイロンがけに相当します。

遠くで砧を打ちながら洗濯をする音が聞こえてきた。

三弦の拍子がト・ト、トン・ト・ト、トンと砧を打って洗濯をしているかのように聞こえてきます。

9. 日本のわらべ唄 野村正峰 作曲

心をひきつけるような美しいメロディーとか、リズムのある曲を演奏したいと願う人達の要望からの作品で古くから親しまれている日本のわらべ唄「お江戸日本橋」「通りゃんせ」「てまりうた」「山寺の和尚さん」の4曲を箏の変奏的二重奏でメドレーにしたものです。

10. 寒 月 中尾都山 作曲

都山流本曲初代中尾都山が明治44年2月に作曲。「寒月海花を照らす」の勅題にちんで作られた曲で、肌をさす厳しさと、対照的に春を告げる梅一輪の温かさをえがいています。寒月の凍てつく冷たい光を甲音で現し、春の訪れを告げる柔らかな梅の花を乙音で表現しています。季節は初春です。

11. おもいのたけ 香登 みのる 作曲

おもいのたけの言葉の意味は慕う心のすべて、思いの限りだそうです。

人は愛した人を思うとき、その思いのありったけを相手に伝えようとします。

それは言葉であったり、文章であったりもしますが、時には「うた」であったり音楽であったりします。

思う心の切なさを尺八・箏・17弦の音色で感じてください。





2021/01

